

出題範囲の要旨について

管理会計論

管理会計論の分野には、原価計算と管理会計が含まれている。原価計算は、材料、仕掛品及び製品等の棚卸資産評価並びに製品に関する売上原価の計算について出題する。また、管理会計は、利益管理、資金管理、戦略的マネジメント等を含み、会計情報等を利用して行う意思決定及び業績管理に関連する内容について出題する。

なお、政府・自治体・非営利組織の管理会計の分野は、当分の間、出題範囲から除外する。

〔注意〕

短答式試験は、下記の「出題項目の例」の全体から出題することとし、論文式試験を受験するために必要な知識を体系的に理解しているか否かを客観的に判定する試験とする。論文式試験は、下記の「出題項目の例」の網掛け部分を重点的に出題することとし、公認会計士になろうとする者に必要な学識及び応用能力を最終的に判定する試験とすべく、特に、受験者が思考力、判断力、応用能力、論述力等を有するかどうかの評価の重点を置く。

<出題項目の例>

I 原価計算に関する領域

1. 原価計算の基礎知識
 - (1) 原価計算の意義と目的
 - (2) 原価の意義と種類
 - (3) 原価態様
 - (4) 全部原価計算と直接原価計算
2. 実際原価計算
 - (1) 費目別計算
 - (2) 部門別計算
 - (3) 製品別計算
 - (4) 単純個別原価計算と単純総合原価計算の流れ
3. 製造間接費の配賦と個別原価計算
 - (1) 総括配賦と部門別配賦
 - (2) 製造間接費の配賦基準
 - (3) 実際配賦と予定配賦
 - (4) 製造間接費予算
 - (5) 原価部門の意義
 - (6) 部門個別費と部門共通費
 - (7) 補助部門費の製造部門への配賦
 - (8) 単一基準配賦法と複数基準配賦法
 - (9) 原価計算表の作成
 - (10) 仕損の処理
4. 総合原価計算
 - (1) 月末仕掛品の評価
 - (2) 仕損・減損・作業層の処理
 - (3) 工程別総合原価計算
 - (4) 組別総合原価計算
 - (5) 等級別総合原価計算
5. 連産品と副産物の原価計算
 - (1) 連産品の原価計算
 - (2) 副産物等の処理と評価
6. 標準原価計算
 - (1) 標準原価計算の意義
 - (2) 標準原価と原価標準
 - (3) 標準原価差異の算定と分析

7. 直接原価計算

- (1) 直接原価計算の意義
- (2) 直接原価計算の計算原理

II 会計情報等を利用した意思決定及び業績管理に関する領域

1. 管理会計の基礎知識
 - (1) 管理会計の意義と目的
 - (2) 管理会計の領域
 - (3) 戦略と管理会計の関係
 - (4) 責任会計の概念
 - (5) マネジメント・コントロール・システム
2. 財務情報分析
 - (1) 財務情報分析の意義と種類
 - (2) 収益性分析
 - (3) 安全性分析
 - (4) キャッシュ・フロー分析
3. 短期利益計画のための管理会計
 - (1) 短期利益計画の意義
 - (2) CVP分析
 - (3) 貢献利益アプローチ(直接原価計算方式)
 - (4) 原価予測
4. 予算管理
 - (1) 予算管理の意義と機能
 - (2) 予算編成と予算統制
5. 資金管理とキャッシュ・フロー管理
 - (1) 資金管理の意義
 - (2) 正味運転資本の管理
 - (3) 運転資金の管理
 - (4) 現金資金の管理
 - (5) キャッシュ・フローの管理
6. 原価管理
 - (1) 原価企画
 - (2) 原価改善
 - (3) 原価維持

7. 活動基準原価計算・活動基準原価管理

- (1) 活動基準原価計算の意義
- (2) 活動基準原価計算の計算原理
- (3) 活動基準原価計算による収益性分析
- (4) 活動基準原価管理の意義
- (5) 活動基準原価管理のプロセス

8. 差額原価収益分析

- (1) 差額原価収益分析の意義
- (2) 差額原価収益分析の手法

9. 投資計画の経済性計算

- (1) 投資計画の経済性計算の意義
- (2) 投資計画の経済性計算の手法

10. 分権組織とグループ経営の管理会計

- (1) 分権化と管理会計
- (2) 振替価格
- (3) 事業部制組織における業績評価
- (4) ミニ・プロフィットセンター
- (5) 多国籍企業のための管理会計
- (6) 分権化組織・事業価値・企業価値の財務評価尺度